

8月24日（月）～

バレーボール大会の取り組みスタート！

体育大会が中止となり、その代替え大会として9月に「バレーボール大会」を学年ごとに開催することとなりました。その取り組みがこの日より始まりました。

昼休みを利用してグラウンドと体育館でクラスごとの練習を行います。バレーボールは集団競技ですが、ネットを挟んでいる上に、ボールに触れるのは一人だけです。後の仲間はカバーに入ったり声を掛けたりして「密」の状態を防ぐことができます。また、どの学年も体育で学習しており、学習成果を発揮する機会にもなります。

この日の昼休みから、練習に取り組みました。感染症や熱中症が心配される中、生徒たちはしっかりとルールを守って活動しています。

- 1 手洗いや消毒等の感染症予防が決しておろそかにならない取り組みであること。
- 2 熱中症の危険を避けるために、WBGTの値にしたがって練習の実施を決めること。
- 3 昼休みはその使い方が個人に委ねられた時間であるため、決して仲間に練習を強制しないこと。



この三つを守って生徒たちは取り組みをスタートさせました。初日は何とか練習できる条件がそろい、グラウンドや体育館に広がって円陣パスの花が咲きました。

また、今年は団ごとの取り組みについても工夫が必要です。学年ごとに取り組むだけに、上

級生と下級生がどのように関わり合うのか。その一つとして、委員会活動を柱とした活動が進んでいます。特に、生活委員会と保健委員会、そして、それをもとに、団の結束を強化する団リーダーたちの動きが大切になってきます。

